

【江東区】

■実施日時：令和6年3月21日（木）10：00～12：00

■参加部署：地域振興部青少年課青少年係、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

■実施内容（取組状況の共有・情報交換等）

○ひきこもり支援の中心部門

- ・地域振興部青少年課青少年係

○江東区の動き

- ・こうとうゆうすてっぷ青少年相談事業を実施。ワーカーズコープに委託。対象は概ね15歳から40歳未満で区内在住・在勤・在学の方。15歳未満は、基本的に教育センターや教育委員会、学校で対応。40歳以上は保健所や社協で対応している。
- ・元々はひきこもり支援事業という形で開始、現在は青少年の幅広い悩みに対応、支援している。支援方法は、対面での相談、電話相談、ZOOMでのオンライン相談、居場所の運営、訪問相談、同行支援。
- ・年3回、ひきこもり問題や青少年期における問題、課題について講演会を実施している。専門家を招き、区内の公民館や文化センターでの啓発活動にもなっている。

○家族会との連携

- ・「のびるの会」は江東の不登校、登校拒否を考える会。不登校の子を持つ親たちが中心になって、1996年に発足した。
- ・「ちるる」は、当事者家族、のびるの会、ワーカーズコープで立ち上げた不登校、行き渋りの子どもやその家族のための居場所。月に一度（土、日）開催。
- ・「のびるの会」、「ちるる」共にこうとうゆうすてっぷを通じて家族会のチラシを提示するなどして連携している。

○当事者会との連携

- ・「次世代の会」は、成人したひきこもる子を持つ親と当事者の会で、2024年1月に発足し江東区教育センターなどで開催している。
- ・こうとうゆうすてっぷが主体で立ち上げ、同行等の支援を行っている。

○民間支援団体との連携

- ・「寺子屋みなてらす」学習支援教室をやっている民間ボランティア団体。
- ・「comodo」学習支援教室を行っている民間団体、現在休止中。
- ・「かめっこほーむず」子どもやその保護者、及び地域の人々に対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する居場所。
- ・「スローハーツ」奇数週の月曜日に居場所を提供している民間ボランティア団体。子どもが学校以外にも安心して過ごせる場所を提供。
- ・「コワーキングスペース光明寺カフェ」お寺の本堂でカフェ、2階にコワーキングスペース。
- ・「木場プレーパークぼうけん隊」自然の体験を通じた学びの場を提供している団体。
- ・上記の団体と、こうとうゆうすてっぷを通じ、家族会のチラシを提示するなどして連携している。

○民生委員・児童委員との連携

- ・講演会や会合に参加している。

○学校との連携

- ・当事者の在籍する学校に対し、当事者家族への同行支援をしている。

○生活困窮者自立支援機関について

- ・ひきこもりの相談実績あり
- ・当事者または家族からの相談を基に、支援プランを一緒に作成し、支援を行う。

○地域社会福祉協議会での対応について

- ・ひきこもりの相談実績あり
- ・地域福祉コーディネーターが地域住民、関係機関と連携し支援する。

■ひきこもりサポートネットからの情報提供・事例紹介・提案等

- ・他自治体におけるひきこもり支援の庁内連携体制について、2自治体の事例を紹介
- ・今後のひきこもりサポートネットとのケース連携のイメージとなる事例を紹介
- ・青少年部門のプラットフォームが設置・運営されている一方、中高年の当事者支援が狭間に陥りがちであることを指摘のうえアドバイス